

§ 報告 §

「東京湾大感謝祭 2017」に 下水道 PR ブース「東京 WONDER 下水道」を出展しました。

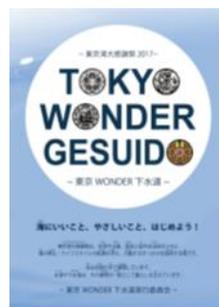
10月20日(金)～22日(日) (22日は荒天(台風21号)のため中止)に、横浜赤レンガ倉庫広場にて「東京湾大感謝祭 2017」が開催されました(初日は東京湾シンポジウムのみ開催)。

「東京湾大感謝祭」は、東京湾再生官民連携フォーラムのプロジェクトとしてはじまり、都市に住む市民や企業、団体と国や自治体がともに、海の再生を考え行動するきっかけを提供する場として平成25年より毎年開催されています。

下水道広報プラットフォーム(GKP)にとって二度目の出展となる東京湾大感謝祭。本年度はより多くの民間企業の皆様にご賛同いただき、国土交通省、4自治体、13民間企業、2団体とともに「東京 WONDER 下水道」を出展しました。

昨年以上にパワーアップした「東京 WONDER 下水道」。「水循環」、「暮らしと排水」、「高度処理」、「合流改善」、「資源・エネルギー」と5つのゾーンにわけ、東京湾の現状や課題、水循環の中での下水道の役割や高度処理・合流改善の取り組み、エネルギー資源としての下水道のポテンシャルについてパネルや模型を使って紹介したほか、クイズラリーや微生物の観察、反応タンクの中にあるような景色を見ることができるVRなどの体験ゾーンを設けました。

また、今年は新たな企画としてミニステージを設け、下水道についてのクイズや紙芝居、バルーンアートなど来場者と直接触れ合うことができるものとして実施したほか、「17ミス日本」水の天使の宮崎あずささんにもご出演いただき、ステージを盛り上げていただきました。さらには、今注目を集めているマンホールにスポットライトを当て、ステージ上・ステージ裏にデザインマンホールやマンホールカードを紹介したパネルを設置しました。東京湾大感謝祭 2017では限定のデザインマンホールの展示、マンホールコースターの配布もいたしました。



大雨にもかかわらず、「東京湾大感謝祭 2017」には 1 日で 25,000 名の来場者が訪れました。「東京 WONDER 下水道」ブースには 450 名の来場者が訪れ、下水道ブースを体験して下さった多くの来場者からは、「面白かった。」、「下水道がよくわかりました。」、「ためになりました。下水道って大事ですね。」等の声をいただきました。21 日(土)オープニングには国土交通省:森岡下水道部長や横浜市の山本下水道計画調整部長にもお越しいただきご挨拶いただきました。

来年も 10 月 19 日(金)から 21 日(日)まで、横浜赤レンガ倉庫、大さん橋ホール及び周辺海上で東京湾大感謝祭が開催されることになっており、GKP としても引き続き、東京 WANDER 下水道を企画し、より多くの皆様に下水道の役割と価値を発信していきたいと考えております。最後になりますが、本企画主旨に賛同し、ご出展いただきました以下団体・企業の皆様、ボランティアの皆様には厚く御礼を申し上げます。

(出展いただいた団体・企業の皆様)

国土交通省下水道部／横浜市／川崎市／東京都／埼玉県／(株)NJS／管清工業(株)／三機工業(株)／JFE エンジニアリング(株)／水 ing(株)／月島機械(株)／東亜グラウト工業(株)／長島鋳物(株)／(株)日水コン／(株)フソウ／前澤工業(株)／(株)明電舎／メタウォーター(株)／下水道高度処理促進全国協議会／NP021 世紀水倶楽部

